

平成 23 年度

事業所番号

004401

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	平成20年度以降の3か年度（年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度）連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所（他の事業所の一部（区分所有部分、テナント部分等）である事業所は除く）
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	日立金属（株）熊谷工場		
所在地	埼玉県 熊谷市三ヶ尻 5200番地		
直近3年のエネルギー 原油換算使用量(kℓ)	20年度	21年度	22年度
	48,872	43,142	51,561
産業分類名（中分類）	非鉄金属製造業		
分類番号（中分類）	23		
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 敷地面積、延べ床面積等)	製造品 永久磁石・アルミホイール・アルミ製自動車部品 従業員 870人 敷地面積 440,000平米		

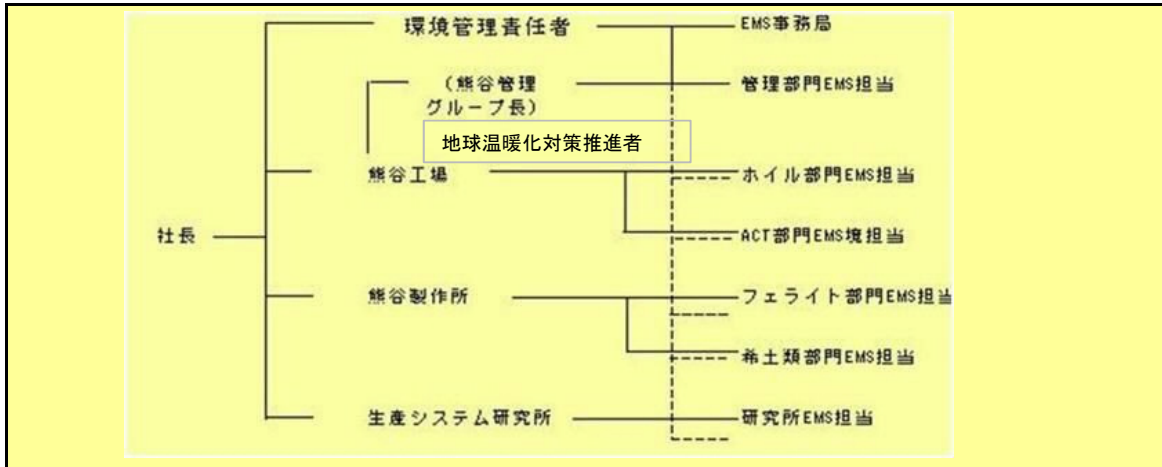
(3) 地球温暖化対策推進者（事業所に推進者がいる場合）

所属部署	電話番号
熊谷管理グループ	048-531-1591

2 事業所の地球温暖化対策推進における基本方針（事業所で定めている場合）

別紙 【日立金属グループ環境保全基本方針】をご参照下さい。

3 事業所の地球温暖化対策における推進体制 (事業所で定めている場合)



4 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 削減目標

削減計画期間		23	年度	～	26	年度				
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	(必須) 平成17年度～19年度の平均排出量を(98584t-CO ₂)基準とし、平成23年から平成26年度の平均で6000 t-CO ₂ /年削減する。								
	その他の									
エネルギー起源CO ₂ の目標概要	基準排出量	98,584	t-CO ₂ /年	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>目標削減率</td> <td>6%</td> </tr> </table>					目標削減率	6%
目標削減率	6%									
排出可能上限量 (計画期間合計)	370,676	t-CO ₂								

5 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

		計画期間前		計画期間			
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO ₂	目標		85,378	88,196	91,106	94,113	97,219
	実績	72,732	87,323				
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂	目標					
		実績					
	メタン	目標					
		実績					
	一酸化二窒素	目標					
		実績					
	ハイドロフルオロカーボン	目標					
		実績					
	パーフルオロカーボン	目標					
		実績					
	六フッ化硫黄	目標					
		実績					
温室効果ガスの合計		目標	85,378	88,196	91,106	94,113	97,219
		実績	72,732	87,323			

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況 (エネルギー起源CO₂)

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

		計画期間前		計画期間			
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位		目標	2.6528	2.6286	2.5073	2.4210	2.3477
		実績	2.5418	2.2715			
活動規模の指標	<input type="radio"/> 生産量 (単位)						
	<input checked="" type="radio"/> 出荷額 (単位百万円)	28615	38442.7	33552	36336	38872	41409
	<input type="radio"/> 従業員数 (単位)						
	<input type="radio"/> 床面積 (単位)						
	<input type="radio"/> () (単位)						

別紙2号 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

日立金属(株) 熊谷工場

No	対策の区分		対策名称	実施時期	備考	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	W:ショートゲート化による溶解エネルギー効率向上	2010年度～	各年度対象アイテムを1つ増やす
2	370700	電動応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	全:エア-漏れ対策<連休時>による圧縮機電力負荷削減	2010年度～	連休時のエアー漏れ調査及び修理
3	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	全:Heiバーク蛍光灯化(200台)	2010年度～	老化蛍光灯の順次更新
4	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	全:受電用のトランス3台の負荷バランス均等化による0.1%トランス損失削減	2011年度	配線変更
5	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	W:LP保持炉更新8台(2台/年)	2010年度～	老化保持炉の順次更新
6	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	F:ローラーハース炉導入	2012年度	老化ガス炉→電気炉
7	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	F:コンプレッサー更新	2011年度	老化コンプレッサーの順次更新
8	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	希:6室連続炉	2011年度	単室炉廃止し、連続炉で更新
9	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	希:ジェットミル	2012年度	高効率コンプレッサー
10	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	希:9室連続炉	2014年度	単室炉廃止し、連続炉で更新
11	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	全:特高変電所遮断機・断路器表示灯5灯白熱電球(25W)→LED照明(2W)化	2010年度	DC110V用白熱電球のLED照明化
12	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	D:金型予熱炉更新による効率向上	2011年度	老化炉の更新
13						
14						
15						

(※希望者のみ記載)

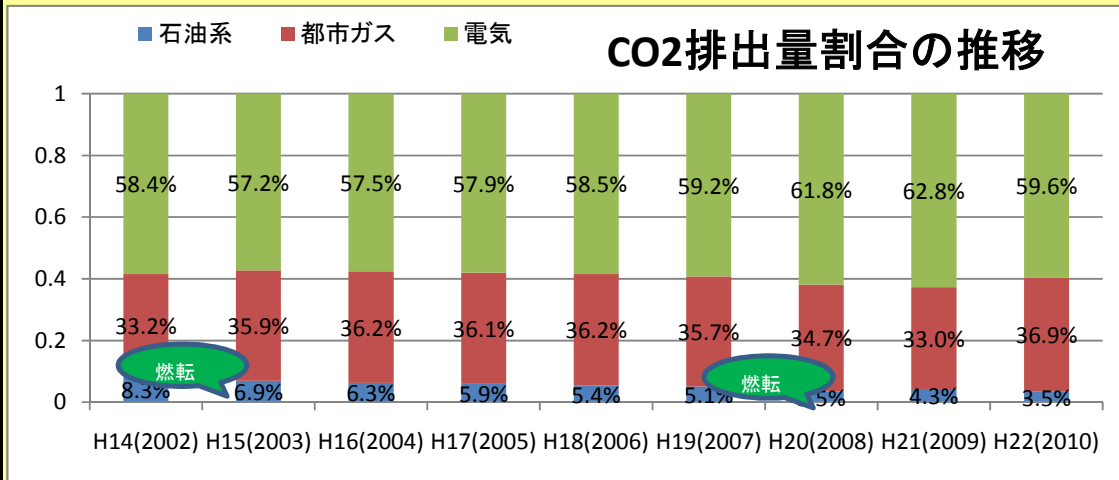
日立金属(株)熊谷工場

自由記述欄

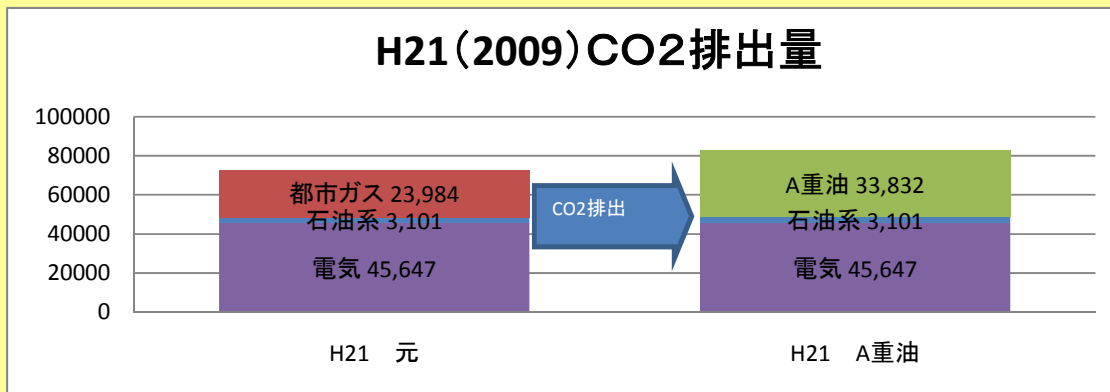
日立金属グループCSR活動報告書のURLは下記となっております。

http://www.hitachi-metals.co.jp/corp/corp14_01.html

以前から日立金属(株)熊谷工場ではエネルギーとしてCO₂排出量の少ない都市ガスを使用しております。更にH14年度及びH19年度に都市ガスへの燃料転換を実施いたしました。



H21年実績で仮に都市ガスをA重油に換えるとCO₂排出量は14%増加いたします。



今後ともCO₂削減に努めて参ります。

県が定める係数以外の電気の排出係数を用いた場合のエネルギー起源CO₂排出量 (22年度)

排出係数 (t-CO ₂ /千kWh)	係数の根拠	エネルギー起源CO ₂ 排出量(t-CO ₂)